

第157回液体クロマトグラフィー研究懇談会例会

日時:2002年5月1日(水) 13時~17時50分

会場:東京理科大学記念講堂(1号館、17階)

[東京都新宿区市谷田町3-21-6、電話:03-3260-4271、交通:JR総武線「飯田橋」駅下車 徒歩4分]

---

**講演主題: HPLCにおける「検出」法の最新動向  
~LC/MSはスピードのエース?~**

**講演**

1. 講演主題概説 (13:00~13:05)  
(ライオン(株))小池 茂行
2. 電気化学検出と生体試料分析への応用 (13:05~13:35)  
(東京薬科大学薬学部)楠 文代
3. 多電極型電気化学検出器を用いた酸化ストレスマーカーの高感度分析 (13:35~13:55)  
(エム・シー・メディカル(株))大内 和幸
4. 活性酸素生成反応に基づく生体関連物質の化学発光分析 (13:55~14:25)  
(昭和大学薬学部)荒川 秀俊
5. 高感度化学発光検出器 (14:25~14:45)  
(東北電子産業(株))山田 理恵
6. ルテニウム錯体電解化学発光検出法を用いたHPLC (14:45~15:15)  
(日本大学薬学部)内倉 和雄
7. パイロ化学発光法液体クロマトグラフ用窒素検出器 (15:15~15:35)  
(アステック(株))保坂 博
8. 旋光度検出器と円二色性検出器を用いた光学活性物質の分析 (15:35~15:55)  
(日本分光(株))坊之下 雅夫
9. UV&FL検出器の高感度化と高安定化 (15:55~16:15)  
(株)島津製作所)村北 宏之
10. エバポレイティブ光散乱検出器と脂質のHPLC (15:55~16:35)  
(株)センシュー科学)安野 和義

11. HPLCにおけるプレラベル化剤及びその応用 (16:35~17:00)

(関東化学(株))酒井 芳博

12. ポストカラム誘導体化検出と医薬品・部外品分析 (17:00~17:25)

(ライオン(株))石井 一男

13. 誘導体化HPLCの動向とHPLC検出の将来 (17:25~17:55)

(東京理科大学薬学部)中村 洋

---

**参加費**(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員:1,000円、その他:3,000円(当日受付にてお支払い下さい)、学生は無料。

共催学会等:日本化学会, 日本薬学会

---

**カタログ展示**

1小間:5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

---

**懇親会**

講演終了後、講師を囲んで立食パーティー形式で開催します(1号館17階大会議室)。会費:1,000円。

---

**申込方法**

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい(定員をオーバーした場合のみご連絡します。)

**申込先**

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号  
(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会  
[電話:03-5487-2790、FAX:03-3490-3572]